

平成27年度  
教育委員会活動の点検・評価報告書

知名町教育委員会  
平成28年9月



# I 点検・評価の概要

## 1. はじめに

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、すべての教育委員会が「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価」を行い、その結果に関する報告書を作成して議会に報告するとともに、地域住民に対して公表するように義務づけられた。また、その実施にあたっては、学識経験者の知見を活用するよう義務づけられている。

## 2. 点検評価の実施について

この点検評価は、教育委員の会議による審議状況や教育委員による調査活動と教育委員会の事務事業の執行状況について、実績や成果と課題を記述し、次に示す4区分により達成度の評価を行った。

点 数	内 容
4	順調に達成しているもの
3	おおむね順調に達成しているもの
2	達成見込みがあるが課題があるもの
1	順調でないもの

## 3. 知名町教育委員会の取組方針

今回で8回目となり、前回平成26年度の点検・評価を踏まえ、同様に評価項目を4段階での数値評価とした。前回は社会教育関係と図書館・公民館関係の3項目とし、今回の評価項目は、教育委員会関係と学校教育関係、学校給食センター関係について、教育長及び教育委員4名による自己点検、自己評価を実施し、評価委員の意見をいただき集約したものを本報告書にまとめ、平成28年9月の第3回議会定例会で報告することとした。

(1) 教育委員会関係では、評価項目を「①教育委員会の会議の運営」「②委員の研修等」「③委員の活動等」の3項目とし、点検評価を行った。

教育委員会の年間をとおした会議、研修、委員活動について、各項目ごとに教育長、主管課長により配付資料等も含め説明、その後の質疑をもとに4段階の数値による評価と記述による意見をまとめた。

(2) 学校教育関係では、評価項目を「①確かな学力の定着・向上」「②心身の調和のとれた児童生徒の育成」「③特色ある開かれた学校づくり」の3項目とし、点検評価を行った。

各学校の学力の定着・向上の対策、具体的実践内容などについて、教育長、課長が関係資料により説明、その後の質疑をもとに同様の数値による評価と記述による意見をまとめた。

(3) 知名町立学校給食センター関係では、評価項目を「①栄養のバランスのとれた豊かな学校給食」「②望ましい食習慣を形成する学校給食」「③食物アレルギー対応給食の実施」「④安全な給食の提供」「⑤給食を通じての学校・家庭及び地域との連携」の5項目とし点検評価を行い、同様の数値による評価と記述による意見をまとめた。

#### 教育行政評価委員

役 職 等	氏 名
元教員	沖 野 富 秀
元町職員	赤 地 邦 男

## II 知名町教育委員会自己点検・評価結果

### 1 教育委員会関係

評価項目	評価の観点	評価
① 教育委員会の会議の運営	1 定例会、臨時会の会議は適切に開催されたか。 (回数、時期、日程、議事等) (反省・意見) ○定例会は毎月1回(原則午後2時開会)実施された。 ○時期、日程等も行事・出張等の調整を図り定例会の中で話し合っ て決めるので良い。	4.0
	2 資料の事前配布等が適切にされたか。 (反省・意見) ○会議録については事前配付がされ、ゆっくり目を通すことができた。 ○議案についても関係資料をできるだけ事前配付し、調査・研究して 審議に臨むよう努めたい。	3.5
	3 議案(報告)等の審議は適切な意見交換がされ、十分審議され たか。 (反省・意見) ○議事の審議は十分に時間をかけてされ、必要に応じて時間延長も あった。	3.5
	4 必要に応じて、報告・連絡・相談及び事前勉強会や相互研修等 がされたか。 (反省・意見) ○教育長の教育行政報告は毎月適切にされており、また、各委員も 学校訪問・行事等への参加を通して状況把握に努め、報告等もされて いる。 ○幼保一元化施策による幼稚園のこども園への統合について、事務局 からの説明に基づき、課題等への対応について情報交換を行うこと を通して共通理解を図る事ができた。	3.5
	5 委員の意見・提案は施策に反映されたか。 (反省・意見) ○委員と事務局との連携はよくされ、個別の施策についても意見交 換がされている。	3.0
	6 会議の公開、広報等は適切にされたか。 (反省・意見) ○会議の公開、広報等については、十分とはいえない。広報ちな又は ホームページを活用して日程を知らせたり、移動教育委員会の開 催を検討するなど工夫が必要である。 ○会議録の公開請求には、原則公開で臨んでいる。	3.0
② 委員の研修等	1 県、地区、町等の研修への参加が適切にされたか。 (反省・意見) ○県・地区の総会・研修会には全員が参加し、当面する課題や今後 の方向性等について研修することができた。	3.5
	2 当面する課題に対する研修が適切にされたか。 (反省・意見) ○住吉幼稚園、上城幼稚園の閉園(平成28年4月)に向けての取組に 際し、その課題について事務局からの意見を聴取し、委員各々が得た	3.5

	<p>情報等についても委員相互による意見交換を行い現状把握・共通理解を図った。</p> <p>○日頃から、委員自ら課題等を見つけ、その解決のため研修する機会を設けていくことも必要である。</p>	
③ 委員の活動等	<p>1 教育委員会主催行事、学校行事、各種団体主催行事等への出席は適切にされたか。</p> <p>(反省・意見)</p> <p>○全員が教委主催行事や学校行事には出席できている。各種団体行事には都合のつく限り出席するようにしている。</p> <p>○ほとんどの行事に参加することができた。</p>	3.5
	<p>2 各種行事等に対する改善点について、委員の意見・提案がされ、改善等に反映されたか。</p> <p>(反省・意見)</p> <p>○定例会で行事に参加しての感想や意見を出し合い、改善点については、校長会や教頭会などに反映させている。</p>	3.5
	<p>3 地域住民、町民等から相談、意見、情報等の提供がされ、適切な対応がされたか。</p> <p>(反省・意見)</p> <p>○学校施設の改修等についていくつかの相談・情報等が寄せられ対応してきているが、一部財政的・町の全体施策等の課題により抜本的な解決には至っていないものがある。</p> <p>○地域住民・町民等からの情報を得る工夫が必要である。</p>	3.0
	<p>4 教育委員と町長、社会教育委員、学校長との懇談会は適切になされたか。</p> <p>(反省・意見)</p> <p>○議会の傍聴や学校訪問等で情報を得るよう努めている。</p> <p>○町長が主催した総合教育会議に全委員が出席し、当面する課題等についてそれぞれの立場での意見交換を行うことができた。</p> <p>○学校長との個別の意見交換はよくなされているが、社会教育委員との定期的な懇談は課題となっている。</p>	3.0

評価点： 4＝大変よくできた      3＝おおむねよくできた      2＝やや不十分      1＝不十分

## 2 学校教育関係

評価項目	評価の観点	評価
① 確かな学力の 定着・向上	1 「授業充実の3ポイント」の徹底を図らせているか。 (特に「確かめ・見届け」) (反省・意見) ○大島教育事務所、町教委の重点である「授業充実の3ポイント①目標の明確化②山場の工夫③確かめ見届け」の実践は、小・中学校とも定着している。学校訪問時の授業参観でも確認している。まだ、「確かめ・見届け」が十分でない学校もある。	3.0
	2 一人一研究授業の実践に努めさせているか。 (反省・意見) ○重点施策の一つである授業力アップのため、研究授業の実施はほぼ100%である。指導方法改善のための共通実践もできているが、まだ十分とはなっていない。	3.0
	3 諸学力検査の結果を踏まえた指導法改善に努めさせ、自己学習力の育成に努めてさせているか。 (反省・意見) ○各学校が学力向上5点アップを目指して目標値を設定し、具体策の実践により、地区通過率を上回り、県・全国レベルになっている分野もあり、向上が見られる。結果分析を生かした指導計画の改善がまだ十分でない。中学生の学力向上が今一步である。 ○主体的自己学習力の育成には至っていない。	3.0
	4 「家庭学習60・90運動」の推進を図っているか。 (反省・意見) ○小・中学校の実態調査の結果から、60・90運動が定着している。家庭学習強調週間の取組や家庭と連携した生活リズムの確立により家庭学習の習慣化が図られつつある。見届け、継続の必要性がある。 ○家庭学習強調週間の設定が、小中学校すべてで取り組まれると、まだ効果があると思う。 ○予習課題を与える等家庭学習の中身の工夫も必要となってくると同時に、家庭で保護者の見届けが確実に行われるよう工夫する必要がある。	3.0
	5 少人数指導や個に応じた指導の工夫が図られているか。 (反省・意見) ○習熟度別指導、個に応じた補充的学習や発展的な学習の実践が進みつつあり、成果として学力向上につながっていると思われる。支援員の指導の効果も期待できる。 ○少人数学級の短所を補うための集合学習や交流学習が組織的・計画的に実施されることが大事である。	3.5
	6 中学校ブロックごとの小中連絡会の充実を図っているか。 (反省・意見) ○相互の校内研究授業への参加や教科・道徳の乗り入れ授業の実施、中学校英語教諭の小学校での授業等があり、良い傾向にある。	3.0
	7 教育懇談会や文化的行事など教育振興に努めさせているか。 (反省・意見) ○町教育懇談会は、年一回テーマを決めて講師を招へいして開催されており、年々、多くの小・中・高の教職員・保護者等が参加するようになっているのは、本町の教育振興を図っていくうえでも良い機会に	3.5

	<p>なっている。また、各学校で計画実施している地域懇談会も「教育・文化の町」として定着させたいものである。</p> <p>○校区単位の懇談会をもっと増やせないだろうか。また、地域懇談会はまだ実施できていない地域もあるので、取り組んでいけるよう努めたい。</p>	
② 心身の調和のとれた児童生徒の育成	<p>1 豊かな心を育む道徳教育の充実に努めさせているか。 (豊かな体験活動、心のノートの活用)</p> <p>(反省・意見)</p> <p>○各学校の実践状況を学校訪問や学校行事等で把握し、努力している姿がうかがえる。</p> <p>○社会人になってから最も重要になってくることなので、この時期に是非充実した取組を行って欲しい。</p>	3.5
	<p>2 心と心のひびき合う生徒指導の充実に努めさせているか。 (共汗と共感、花いっぱい運動)</p> <p>(反省・意見)</p> <p>○学校・学級園、一人一鉢運動の実践による花いっぱい運動、教師、子どもが共に汗する清掃、美化活動、ボランティア作業等の取組が良くなってきている。その成果は、花壇コンクールで評価しているが、まだ、学校間での取組に温度差が見られるようである。</p>	3.0
	<p>3 基本的な生活習慣の確立のために具体的な実践に努めさせているか。(早寝、早起き、朝ご飯)</p> <p>(反省・意見)</p> <p>○一事徹底事項の設定が全校でできており、あいさつ、返事、整理整頓、服装などで成果が見られる。継続実践してほしい。</p> <p>○週末の早寝、早起きが乱れがちである。</p>	3.5
	<p>4 いじめ、暴力行為、不登校の早期発見と指導の充実に努めさせているか。</p> <p>(反省・意見)</p> <p>○いじめ、暴力行為、不登校等の発生が見られないのは、生徒指導の成果と思われる。中学校では、不登校気味の生徒もおり、登校指導への取組の継続が必要であろう。</p> <p>○スクールソーシャルワーカーの活用を進めていく必要がある。</p>	3.5
	<p>5 読書の習慣化を図り、朝読書や年間一人50冊読書推進に努めさせているか。</p> <p>(反省・意見)</p> <p>○小学校では一人50冊の目標を大きくクリアしている。中学校もほぼ目標冊数を達成していると思われる。各学校へ本を寄贈した人の気持ちに感謝しながら読みたいものである。</p> <p>○各学校の読書会の活動も推進され、年々読書量の向上が図られている。</p>	4.0
	<p>6 家庭、地域、関係団体との連携を密にし、問題解決及び未然防止に努めさせているか。</p> <p>(反省・意見)</p> <p>○長期休業中のPTA・警察等との連携による愛のパトロール、登下校の交通指導、校区内安全マップの見直し等が推進されている。</p> <p>○地域での大人の声かけ運動がまだ不十分である。</p>	3.5
	<p>7 教科体育を中心に体力・運動能力の向上に努めさせているか。 (一校一運動の推進)</p> <p>(反省・意見)</p> <p>○各学校ともそれなりに目標を設定し努力しているが、学力向上ほど</p>	3.0



	<p>の成果は見られないようである。陸上記録会の記録更新にほど遠い現状もある。</p> <p>○子どもと一緒にがんばっている先生も多く見られる。</p> <p>○各学校取り組んで成果も現れているが、肥満等の問題など課題もある。</p>	
	<p>8 保健指導の充実に努めさせているか。 (学校保健全体計画、健康相談、衛生管理、保健委員会等)</p> <p>(反省・意見)</p> <p>○学校保健安全計画の作成ができています。町健康教育大会の実践発表からも取組の成果がうかがえた。</p> <p>○法定健康診断以外にも眼科・耳鼻科検診を毎年実施し、早期治療へ役立っていることは大変良いことである。</p>	3.5
	<p>9 安全指導の充実に努めさせているか。 (安全意識の高揚、事故防止、安全点検等)</p> <p>(反省・意見)</p> <p>○児童生徒の学校事故や校外での大きな事故の発生がないようであり、安全指導や安全点検等が適切だと思われる。</p> <p>○スクールガードの活用もよくなされ、登下校の状況もとても良好である。</p>	3.5
	<p>10 食育についての指導の充実に努めさせているか。 (食に関する全体計画、栄養教諭との連携、栽培活動の充実)</p> <p>(反省・意見)</p> <p>○年間計画の作成も全校できている。給食指導や家庭との協力もよくなされているが、肥満気味の子どもの割合がやや高いのが課題であろう。</p>	3.5
③ 特色ある開かれた学校づくり	<p>1 学校や地域の個性を生かした活動の充実に努めさせているか。 (反省・意見)</p> <p>○手作り弁当遠足、ホームページ作成、緑の少年団、島唄、三味線、ジャガイモ・さとうきび栽培、米づくり、黒糖づくり等特色ある活動が多くみられる。</p>	3.5
	<p>2 学校評議員や地域人材を活用した活動や学校評価の充実に努めさせているか。 (反省・意見)</p> <p>○地域の人材を活用した諸行事への協力として、島唄・島ムニ、三味線、昔の遊び、ジャガイモ栽培指導、講話、郷土芸能伝承等が素晴らしい。</p> <p>○学校評価への参画を今後は推進していく必要がある。</p>	3.0
	<p>3 幼小中高の連携の強化に努めさせているか。 (反省・意見)</p> <p>○研究公開、中学校ブロック別研修会、生徒指導連絡会、小中高の入学前の引継ぎ等の連絡会、研究会は良くできている。それ以外での幼小の交流、小中高の交流は時間的な制約もあり、多くは実施できないのが現状ではないかと思う。授業時数の確保のためにも各種行事の精選も必要となるであろう。</p> <p>○小中の連携は図られつつあり、中学校説明会を各中学校で行っているので、小学生や保護者にとってはとても良い。</p> <p>○中高連携による島内実力テストを実施できたことは、大きな成果であるので、今後とも是非継続していただきたい。</p>	3.0

評価点： 4＝大変よくできた 3＝おおむねよくできた 2＝やや不十分 1＝不十分

3 知名町立学校給食センター

評価項目	重点目標	平成27年度の実績・成果と課題	評価																																				
<p>① 栄養のバランスのとれた豊かな学校給食</p>	<p>1 栄養バランスのとれた献立作成</p> <p>(目標) 文部科学省学校給食実施基準(H20.10.23改正)を満たす</p>	<p>(実績)</p> <p>○文部科学省が学校給食実施基準に対する充足率(H27:単位%)</p> <table border="1" data-bbox="671 479 1094 1055"> <thead> <tr> <th></th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エネルギー</td> <td>103</td> <td>99</td> </tr> <tr> <td>タンパク質</td> <td>114</td> <td>109</td> </tr> <tr> <td>脂質</td> <td>90</td> <td>82</td> </tr> <tr> <td>カルシウム</td> <td>108</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>鉄</td> <td>103</td> <td>105</td> </tr> <tr> <td>ビタミンA</td> <td>212</td> <td>165</td> </tr> <tr> <td>ビタミンB1</td> <td>162</td> <td>140</td> </tr> <tr> <td>ビタミンB2</td> <td>126</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>ビタミンC</td> <td>140</td> <td>115</td> </tr> <tr> <td>食塩ナトリウム</td> <td>102</td> <td>104</td> </tr> <tr> <td>食物繊維</td> <td>100</td> <td>101</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果)</p> <p>○文科省が制定する「学校給食摂取基準」をもとに、献立作成を行った。</p> <p>栄養価・食品構成基準を充足出来なかった項目が1項目のみとなり改善された。</p> <p>○教科との関連や、食に関する指導の生きた教材として活用できるよう献立作成を行った。</p> <p>(課題)</p> <p>○摂取基準を満たし、且つ児童・生徒が楽しく残さず食べる献立の作成に努める。</p> <p>(成果)</p> <p>○年間計画に基づき、行事食、旬の地元食材等を献立に取り入れ、季節感を持たせた給食を提供できた。(地場産物の活用「知産知消」地産地消)</p> <p>○生産者グループ・あたらしゃ会との定例会に於いて、郷土の野菜等を取り入れる。</p>		小学校	中学校	エネルギー	103	99	タンパク質	114	109	脂質	90	82	カルシウム	108	100	鉄	103	105	ビタミンA	212	165	ビタミンB1	162	140	ビタミンB2	126	120	ビタミンC	140	115	食塩ナトリウム	102	104	食物繊維	100	101	<p>3.5</p>
	小学校	中学校																																					
エネルギー	103	99																																					
タンパク質	114	109																																					
脂質	90	82																																					
カルシウム	108	100																																					
鉄	103	105																																					
ビタミンA	212	165																																					
ビタミンB1	162	140																																					
ビタミンB2	126	120																																					
ビタミンC	140	115																																					
食塩ナトリウム	102	104																																					
食物繊維	100	101																																					

	<p>2 調理員や野菜生産者の方々のふれあい給食の実施</p>	<p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○行事食、郷土料理、地場産物を使った料理を献立に取り入れた。</li> <li>○日本各地の郷土料理、世界の料理を取り入れた。</li> <li>○児童・生徒が生産したジャガイモを給食でも活用した。</li> <li>○和泊・与論3町とも与論のサメ・モズク、沖永良部のきくらげを使った「仲良し給食」を実施した。</li> </ul> <p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○献立に変化を持たせることで、児童・生徒が学校給食を楽しみにしたり、興味関心を持ったりするようになった。</li> <li>○調理員や生産者と給食を食べたり話を聞いたりすることで、食への感謝する気持ちが強くなった。</li> <li>○地域の産物や郷土料理に興味を持つようになった。</li> </ul> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○年々生産者の高齢化、若い生産者が少なく、地場産物の確保にも少なからず影響がある。</li> </ul>	<p>3.5</p>
	<p>3 セレクト給食を通し食品の特徴を知り選ぶ能力を養うとともに楽しみながら選ぶ給食の提供</p>	<p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○毎月19日の「食育の日」におけるセレクト給食、中学校卒業前のリクエスト給食を実施した。</li> </ul> <p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○楽しく食事をすることで、人間関係が豊かになった。</li> <li>○学校給食や食への興味関心を高め、自分の健康を考えた選択が出来るようになった。</li> </ul>	<p>3.0</p>

<p>② 望ましい食習慣を形成する学校給食</p>	<p>1 食育指導を通じて、食べることの大切さを児童・生徒に伝え、日常生活に生かすことができる、能力や態度を育てる。</p> <p>(目標) 各クラスへ給食時間を利用して、年1回以上食育指導に入る。</p>	<p>(実績) ○7校の小・中学校へ給食週間及び給食時間を利用し、1回から2回の食育指導を行った。 ○学級活動や教科「家庭科」で食に関する指導を行った。</p> <p>(成果) ○栄養教諭の専門性を発揮し、給食を通じて食べることの大切さを児童・生徒に伝えた。</p>	<p>3.0</p>
<p>③ 食物アレルギー対応給食の実施</p>	<p>1 食物アレルギー対応給食の実施に当たり、次の3点について確実に実施する。</p> <p>※アレルギー対応食の実施 ※保護者との連絡 ※学校との連絡</p>	<p>(実績) ○学校及び保護者との連携を密にし、適切な食物アレルギー対応食の実施ができた。</p> <p>○食物アレルギー対応給食の実施状況 14品目</p> <p>対象児童・生徒 小学校延べ 370人(14人) 中学校延べ 170人(9人) ( )は実人数</p> <p>(成果) ○食物アレルギーを持つ子供たちに対して、学校及び保護者と連携し、一人一人の健康状態や個人差を把握しながら、できる限り個に応じた対応を行った。</p> <p>○ガイドラインに基づき学校との、アレルギー対応が一本化されつつある</p>	<p>3.5</p>

<p>④ 安全な給食の提供</p>	<p>1 調理員に対し、食中毒防止の基礎的知識と、日常業務に直結した衛生管理研修の実施</p> <p>(目 標) ※全調理員に対し、衛生研修会を実施。</p>	<p>(実 績)</p> <p>○全調理員に対し、衛生研修を実施した。 (大島地区学校給食センター連絡協議会研修会)</p> <p>※夏季職員衛生研修会 (センター職員のみ) (年1回)</p> <p>※県衛生研修会 (職員出席) (年1回)</p> <p>(成 果)</p> <p>○食中毒の基礎知識研修により、主な食中毒と感染症の特徴、衛生管理の徹底を図る為の、衛生管理基準等の徹底について理解できた。</p> <p>○調理員の健康管理、手洗いの方法等、調理従事者としての、衛生管理の基本的事項について理解できた。</p>	<p>4.0</p>
	<p>2 食品及び調理場内の衛生管理の徹底</p> <p>(目 標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食品検査年2回</li> <li>・水質検査 (毎日調理前後)</li> <li>・清掃・消毒検査 (毎日)</li> <li>・鼠, 昆虫等防除 (学期毎)</li> <li>・調理場等環境衛生</li> <li>・ふき取り検査 年2回 (一般生細菌・大腸菌群)</li> </ul>	<p>(実 績)</p> <p>○学校薬剤師による毎学期1回の定期検査を実施した。</p> <p>○食品検査等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食品検査 年2回</li> <li>・水質検査 毎日調理前後</li> <li>・清掃・消毒検査 毎日</li> <li>・鼠, 昆虫等防除 学期毎</li> <li>・調理場等環境衛生 毎日</li> <li>・ふき取り検査 年2回 (一般生細菌・大腸菌群)</li> </ul> <p>(成 果)</p> <p>○食品及び衛生検査の結果、いずれも基準値を満たしていた。</p> <p>○検査結果を、日々の衛生管理に活用するとともに、衛生管理基準を遵守し、食品及び調理場内の衛生管理を行った。</p> <p>(課 題)</p> <p>●昔ながらのウエットシステムの施設をドライ運用している。</p>	<p>3.5</p>

		近年、ノロウイルス・病原性O157等の食中毒が発生しており、学校給食において、一層の衛生管理の徹底を図る必要が生じている。	
	3 日常点検の実施	<p>(実績)</p> <p>○日常点検を実施した。</p> <p>※個人別健康観察記録の実施(毎日)</p> <p>○調理中のタイムスケジュールの実施(毎日)</p> <p>(成果)</p> <p>○調理員個人の、体調管理(メンタル)ミーティング等、日常自身の状態を確認することで、お互いのケアが出来た。</p>	3.5
⑤ 給食を通じての学校・家庭及び地域との連携	<p>1 給食試食会を通じて、給食の様子や献立について保護者に伝える。</p> <p>(目標)</p> <p>※給食試食会の実施</p>	<p>(実績)</p> <p>○給食試食会の実施</p> <p>※小学校・中学校共に実施</p> <p>※新1年生のふれあい給食の実施</p> <p>(成果)</p> <p>○保護者からのアンケートにより、給食の試食を通じて、学校での給食の様子や、献立内容及び食事の大切さについて、理解してもらうことができた。</p>	3.5
	<p>2 食育(給食)について、家庭へ情報提供を行う。</p> <p>(目標)</p> <p>給食献立表の発刊 毎月1回</p> <p>給食だよりの発刊 毎月1回</p>	<p>(実績)</p> <p>○給食献立表の発行 毎月1回</p> <p>○給食だよりを発行した 毎月1回</p> <p>(成果)</p> <p>○食育(給食)について、情報の提供を行った。</p> <p>ホームページ等を通じて毎日の献立や食育に関する情報等も配信した。</p> <p>(平成21年7月知名町立学校給食センターホームページ開設)</p>	3.5

	<p>3 給食センター、学校及びPTAとの意見交換を行い、連携を深める。</p> <p>(目 標)</p> <p>※運営委員会の開催 (年2回)</p> <p>※給食担当者会議の開催 (年2回)</p>	<p>(実 績)</p> <p>○各会議を開催した。</p> <p>※運営委員会 2回</p> <p>※給食担当者会議 2回</p> <p>(成 果)</p> <p>○給食センターの情報を提供することができた。</p> <p>今後、給食センター、学校及び保護者との意見交換の場を設け、より給食に対して、総理解が図れるよう働きかけたい。</p>	<p>3.5</p>
--	---	---	------------

### Ⅲ 教育行政評価委員意見のまとめ

#### 1 教育委員会関係について

##### (1) 教育委員会の会議の運営について

定例会、臨時会の開催が行事等を考慮して適切に実施されている。議案等についての資料を事前に配付して、事前研究をして会議に臨み、十分な意見交換ができるように努めていることは基本的な事であり、更に充実させて欲しいものである。

町教育委員会の施策等については、広報「ちな」やホームページを利用して積極的に、町内外に広報していただきたい。そして、開かれた教育委員会制度を確立していくためにも、定例会議の公開や移動教育委員会の開催等に積極的に取り組み、教育行政に関心のある町民からの声や要望に対応できる様な態勢は確立しておく必要がある。また、「教育・文化の町」として、多くの町民に教育委員会の活動について、「どのような方法で関心を持たせていくか」が課せられた大きな課題ではないでしょうか。

##### (2) 委員の研修等について

県市町村教育委員会連絡協議会総会・研修会と大島地区市町村教育委員会連絡協議会総会・研修会に全委員が出席して、当面する課題や教育改革の動向等について研修を深めている事は、職務遂行上から有効なことである。これからの教育委員の活動にこの研修内容や資料等を活かしていくとともに、現場の教職員や保護者にも広報の必要性があるときは、大いに活用させてもらいたい。

##### (3) 委員の活動等について

教育委員の活動内容の主たるものは、毎月の定例教育委員会での議事や協議事項の審議及び報告等である。町教育委員会の重点施策への各学校の取り組み状況と成果を把握する場として、学校行事として実施されている入学式、卒業式、立志式等の儀式的行事、運動会、体育大会、記録大会等の体育的行事、学習発表会、文化祭等の文化的行事と多岐にわたる行事へ積極的に出席して児童生徒や教職員の活動を直に見て、後日感想、意見を出し合い改善に資している事はよいことである。また、教育委員としての立場上から、各種団体の主催する行事への案内も多いが、できるだけ都合をつけ出席していることは素晴らしいことである。町民や地域住民、保護者等からの要望、相談、意見等を収集して、改善・解決に向けて誠心誠意努力する事は大切な事である。今後も、迅速な課題解決に取り組んでもらいたい。

教育委員がいろいろな催しなどの場で、町長、学校長、社会教育委員と言葉を交わす機会はあるかと思いますが、お互いに多忙な中でも時間、場所を設定して、教育関係の課題等について懇談をする事は意義深いと思いますので、定期的な開催実現に努めてもらいたい。



## 2 学校教育関係について

### (1) 確かな学力の定着・向上について

基礎・基本を確実に身に付け、さらに自ら学び、考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する能力を育むために教育活動を進めている。その目標達成のための取り組みとして、各学校では「授業充実の3ポイント」の徹底、一人一研究授業の実践、学力向上5点アップを目指しての具体策の実践、「家庭学習60・90運動」の推進、少人数指導や個に応じた指導の工夫、中学校ブロックでの研究授業の実践、町教育懇談会等が着実に進められており成果が見られる。

鹿児島学習定着度調査結果から、教科や学年によりまだ低い通過率も見られるので更なる取り組みが必要である。また、中学校においては、「鹿児島ベーシック」、「鹿児島チャレンジ」等の県教材の活用等で学力の定着・向上を図り、特に、離島へき地の一島一高校という実情で、生徒の志望する進路が叶えられるように万全の対策が取れることを切に望みたい。

### (2) 心身の調和のとれた児童生徒の育成

豊かな心を育む道徳教育の充実として、豊かな体験活動、心のノートの活用、子どもと教師が共に清掃、花一杯運動、ボランティア活動で汗を流し、共感する活動の充実が各学校で図られている。また、家庭と連携しての「早寝・早起き・朝ご飯」などの基本的な生活習慣の確立やいじめ、暴力行為、不登校の早期発見と指導に対する連携もできている。また、朝読書や年間一人50冊読書の推進、長期休業中の警察等との連携による愛のパトロール、登下校の交通指導、校区内安全マップの作成等の活動が計画的に推進されて健全育成に成果が見られている。なお、いじめや暴力行為等の問題行動も無く、素晴らしい事であるが、不登校気味の生徒が数名おり登校できるよう引き続き指導していく必要がある。

教科体育の充実、一校一運動の推進につとめているが、各種大会での上位入賞が少なく、記録大会での記録更新が殆どないのは課題である。学校保健全体計画による保健指導、安全指導が適切になされており命にかかわるような事故も無く子どもたちが安心して学校生活を楽しく過ごしている事は素晴らしい。

食育についての指導も計画的に進められており成果も見られているが、肥満気味の子ども割合もやや高いので家庭との連携を図り改善してもらいたい。

### (3) 特色ある学校づくりについて

学校や地域の個性を生かした活動を進めているが、地域特性としてどの学校でも郷土芸能の伝承に努めていることは素晴らしい。学校で、島唄・三味線等を指導して、その成果を学習発表会・文化祭・町島唄島ムニ大会等で発表して保護者や多くの町民から好評を博している。

また、子どもによる学校ホームページの作成、教育機器を活用した学習活動や地域

の特性を活かしたジャガイモ・サトウキビ栽培、米づくり、黒糖づくり等の体験活動も評価に値する。更には、緑の少年団、空き缶拾い、ボランティア活動等の素晴らしい活動も継続して貰いたい。ただし、今なお道路には菓子袋や空き缶等が落ちているのが目に付くので、ポイ捨てはしないように子ども大人共に、意識化して環境美化の面からも町全体で取り組む必要がある。

### 3 町立学校給食センター関係について

今回は、所長から学校給食センターの施設・設備について、運営上及び衛生面における問題点・改善点の具体的な説明をして貰い現状が把握でき大変良かった。なお、本町の調理場は昔ながらのウェットシステムで老朽化も著しい状況にあることから、食中毒の予防・防止を図り安心安全な給食の提供を継続していくためにも、今後は、施設設備の改修・更新が必要である事を確認する事が出来た。町当局の一日でも早い改修への取り組みを期待したい。

次に、事務事業の執行状況について各項目の実績・成果と課題を見て、意見を述べたい。

- (1) 栄養のバランスのとれた豊かな学校給食にするために、文部科学省学校給食実施基準をもとに栄養のバランスのとれた献立により、各栄養素が基準を上回って摂取されている。脂質で90%をやや下回っていたが、豆類や貝類等を食材にした献立を多くして充足率を満たす工夫をしている事は、評価に値する。また、行事食、セレクト給食、リクエスト給食、仲良し給食、交流給食、世界の料理などに、旬の地元食材や子どもが栽培したジャガイモ等を使った献立で楽しい給食にしていることは素晴らしい。
- (2) 望ましい食習慣を形成するために、栄養教諭が各学校を巡回食育指導をしている事は、効果的な指導が期待できるので今後とも続けて貰いたい。
- (3) 食物アレルギーを持つ子供達に対して、学校及び保護者と連携し一人ひとりの健康状態や個人差を把握した適切な食物アレルギー給食が、14品目で延べ人数小学校370人・中学校170人分提供できているのでよい。
- (4) 安全な給食の提供をするために、衛生管理の徹底と全調理員を衛生研修会に出席させて食中毒と感染症の特徴や衛生管理基準、健康管理、手洗い方法等調理従事者としての衛生管理の基本的事項を理解させている事は大変重要な事で継続して貰いたい。また、食品及び調理場内の衛生管理を徹底するために、食品検査、水質検査、消毒、清掃、鼠・昆虫の防除を計画的に実施し、基準値以下の結果で効果が見られてよい。

- (5) 給食を通じての学校・家庭及び地域との連携を図る取り組みとして、給食試食会やふれ合い給食の実施、給食献立表・給食だよりの発行、ホームページを通しての食育の情報提供等素晴らしい取り組みをしている。また、運営委員会や給食担当者会を開催して運営上の問題点や学校、保護者からの要望、反省点等について意見交換して改善に努めている事は良い事である。

以上、各項目に於いて多くの問題点がある中で工夫しながら、困難を克服しつつ安全な給食、子どもに喜ばれるおいしい給食づくりに日々精進しているスタッフ一同に敬意を表したい。また、各学校では給食時間を一番楽しみにしている子ども・先生たちがおり、更に親も学校給食に感謝していることを忘れずに励んで頂きたい。

#### [総評]

評価委員は、平成27年度の教育委員会関係、学校教育関係、学校給食センター関係について、教育長、課長及び担当職員から資料により事業実施の成果や反省点についての説明を受け、意見交換や添付資料の自己点検評価結果等を踏まえて評価委員としての意見をまとめた。各点検項目についての達成目標が設定されており、常に活動状況を把握しながら問題点を洗い出し改善に向けて取り組んでいる。改善が短期間でできるものと長い時間かかるものがあると思うが、明るい展望を持った日々の取り組みに精進し、着実な成果が得られる事を期待したい。

